

地域の教育力up!

放課後・休日・長期休業中は、

「地域で子どもの成長を見守るときです！」

子どもが学校にいる時間は、1/3日・1日8時間ほどです。
つまり、2/3日は家庭や地域にいます。

家庭では・・・

子どもの心に働きかけるには、

自己有用感・規範意識・自主、自律・協同性・学習意欲・将来展望

6つの視点があります。それぞれの項目の高い子どもの保護者は、

- ・子どもがほめてほしいことをほめている。
- ・子どものことをいつも考えている。
- ・子どもと意見が違ってても耳を傾けている。といった傾向があります。

そのために お子さんが学校から帰ったら次の言葉かけ**3か条**が有効です。



「今日はどんなことがあったの？」
「また勉強しているのね。すごいなあ」
「明日もがんばってね」

『勉強しないと叱られる』という義務感より、『勉強すると褒められる』という肯定感が子どもを伸ばします。

お子さんは、身近な大人のようにすをよく見えています。
そして、知らず知らずのうちに大人のまねをしているのです。

玄関の靴やトイレのスリッパを家族
全員できちんとそろえましょう。

大人も約束や時間を守ったり、きれいな
言葉遣いをしたりしましょう。

子どもの手本となるような言動を心がけましょう。

地域では・・・

学校では、「あいさつ・返事」の基本的な生活習慣や安全な生活の指導をしています。
また、長期休業の前には特に安全な過ごし方について指導しています。



そこで

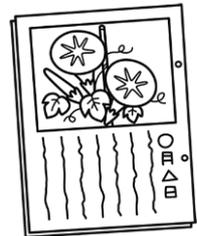
子どもの下校時刻に外に出ましょう。また、あいさつを子どもより先にしてみましょう。

(子どもは安心できる大人にあいさつをします)

一人である子どもの安全に気を配りましょう。

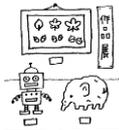
長期休業中は・・・

「のびゆくすがた」の保護者の欄にお子さんへの励ましの言葉を記入してください。



地域の行事や体験活動に参加させましょう。

そして、長い休み中でなければできないことに挑戦させましょう。



交通事故・水の事故・火（花火）の事故・熱中症・犯罪など
多くの危険が潜んでいます。

そこで

子どもたちが安全に過ごせるように、家庭では過ごし方について十分話し合ひましょう。



子どもが安心して過ごせる地域は、地域の教育力のある
場所だといわれています。

※ 子どもたちが危険なことをしていたり、よくない言動をしていたりした時は、すぐに声をかけてください。その後は、速やかに学校までご連絡ください。

地域にお願いしたいこと5か条

○子どもたちに、あいさつをお願いします。

○児童の登下校時には、通学路へ出て安全を見守ってください。

○児童が危険なことをしていたり、よくない言動をしていたりしたときには、声をかけてください。

○地域の行事に進んで参加させてください。

○学校とともに、地域をよくしていこう

という意識をもって子どもを育てましょう。



学校と家庭と地域は、子どもの健やかな成長のための教育の同志であるという意識をもって一緒に努力していきましょう。

学校へ連絡するときには・・・



学校では、家庭や地域の方からの連絡には丁寧に対応するよう努めています。

学校へ電話するときや、
玄関インターフォンで話す
ときは、

「〇年〇組の△△△△の母（父）です。（〇〇地区の△△です。）
●●●●のため、～～～しにきました。」と話してください。